

平成24年度事業報告

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

第1 概要

平成24年度の畜産を取り巻く情勢は、国内経済が引き続き低迷していたことから、消費動向は低価格志向が主流のままで、畜産の主産物価格に堅調な回復の兆しは見られず、畜産農家の粗収入は伸び悩んでいた。一方、生産活動の主経費である飼料費では、国外依存度の高い配合飼料原料の穀物が、新興国で増す食糧需要やバイオ燃料原料の食用外需要に加え、米国穀倉地帯での記録的な干ばつの影響により再び高騰し始めたため、畜産経営の収支を圧迫し続けた。

このような情勢下にあつて、国が措置する畜産経営安定対策においては、養豚経営安定対策、鶏卵価格安定対策を始め、当協会が実施する肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定特別対策を含めた各事業において補填金等が発動されたが、福島原発事故の影響が顕著であった肉用牛肥育経営へは、通常は四半期毎に行う補填金交付を、前年度に引き続き月毎に補填金を交付する措置を続けている。

また、当協会にあつては、民間の非営利部門活動の健全な発展を促進し、民による公益への寄与を目的とする公益法人制度改革関連法案に対応して、組織の「公益」認定取得へ向けた取り組みを進め、平成25年3月21日に愛知県知事から公益法人移行の認定を受けた。

このため、平成25年度からは、新たに公益社団法人として発足し直し、これまで以上に事業の公益性を担保しながら、愛知県での畜産物の安定生産と供給、畜産への理解醸成と情報提供等に取り組む組織として活動していくこととなった。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 第1回通常総会 平成24年6月25日(月)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 平成23年度事業報告、財務諸表並びに収支計算書に関する件

(2) 臨時総会 平成24年12月19日(水)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 公益社団法人への移行認定申請に関する件

第2号議案 公益社団法人愛知県畜産協会の定款(案)に関する件

第3号議案 公益社団法人愛知県畜産協会の諸規程の制定に関する件

第4号議案 公益社団法人移行後の最初の役員等に関する件

(3) 第2回通常総会 平成25年3月25日(月)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を

得た。

議事

- 第1号議案 平成24年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 平成25年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 平成25年度歳計現金預入先に関する件
- 第5号議案 平成25年一時借入金の最高限度額決定に関する件
- 第6号議案 役員報酬に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成24年6月5日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 平成23年度事業報告、財務諸表並びに収支計算書に関する件
- 第2号議案 第4期家畜防疫互助事業業務方法書の制定に関する件
- 第3号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第4号議案 平成24年度第1回通常総会開催時期に関する件

(2) 第2回理事会 平成24年11月27日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、会務及び業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 公益社団法人への移行認定申請に関する件
- 第2号議案 公益社団法人愛知県畜産協会の定款(案)に関する件
- 第3号議案 公益社団法人愛知県畜産協会の諸規程の制定に関する件
- 第4号議案 公益社団法人移行後の最初の役員等に関する件
- 第5号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る事務手数料に関する件
- 第6号議案 平成24年度臨時総会開催時期に関する件

(3) 第3回理事会 平成25年3月13日(水)

大津橋ビル5階中会議室において、第2回通常総会に付議すべき議案及びその他業務、会務の執行に関する事項について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 平成24年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 平成25年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 特別運営基金の返還と有価証券の管理に関する件
- 第5号議案 高橋養鶏賞顕彰基金を指定正味財産とする件
- 第6号議案 平成25年度歳計現金預入先に関する件
- 第7号議案 平成25年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
- 第8号議案 役員報酬の決定に関する件
- 第9号議案 平成25年度予防注射に関する件
- 第10号議案 諸規程の改正等に関する件
- 第11号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件
- 第12号議案 第4期家畜防疫互助事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第13号議案 平成24年度第2回通常総会開催時期に関する件

3. 監事会

定期監査 平成24年5月30日(水)

大津橋ビル5階小会議室において、平成23年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区分	本年度当初 (24年4月1日)	増 減		本年度末 (25年3月31日)
		辞 任	就 任	
理事	9	0	0	9
監事	3	0	0	3

(平成24年4月1日 理事1名補欠就任)

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員(平成24年4月1日一般社団法人愛知県養鶏協会加入)

年度末会員数：20会員

6. 職員数 (平成25年3月31日現在)

職 員 6名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 4名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営指導課	1	1	2
畜産振興課	3<1>	3	6<1>
総務管理課	1	—	1
計	6<1>	4	10<1>

(平成24年度から経営指導課職員1名減員、平成25年度から嘱託職員1名減員)

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年月日	場 所	会 議 名	年月日	場 所	会 議 名
24.4.23	東京都	肉用子牛生産者補給金制度 全国会議	24.6.29	名古屋市	愛知県養豚農協総会
24.4.24	東京都	肉用牛肥育経営安定特別 対策事業全国会議	24.7.12	岡崎市	畜産フェスタ会議
24.4.27	東京都	畜産特別資金等全国会議	24.7.24	幸田町	愛知県酪農農協総会
24.5.29	岡崎市	愛知県和牛改良協会総会	24.7.25	東京都	馬飼養衛生等全国会議
24.6.4	名古屋市	愛知県養鶏協会総会	24.8.7	名古屋市	東海地域農林漁業成長産 業化推進協議会
24.6.6	名古屋市	名古屋コーチン協会総会	24.8.7	名古屋市	東海地域生乳安全安心協 議会
24.6.7	東京都	全国農場HACCP普及推進 会議	24.8.30	東京都	肉用牛肥育経営安定特別 対策電算システム研修会
24.6.8	名古屋市	いいともあいち推進協議会	~31		
24.6.26	東京都	中央畜産会総会	24.9.5	名古屋市	東海ブロック畜産協会連 絡協議会
24.6.27	名古屋市	愛知県養豚協会総会愛知	24.9.7	岡崎市	畜産フェスタ会議
24.6.27	岡崎市	県家畜人工授精師協会総 会	24.9.19	名古屋市	東海4県衛生ブロック会議
24.6.28	岡崎市	口蹄疫・鳥インフルエン ザ県域防疫訓練	24.10.5	岡崎市	畜産フェスタ会議
			24.10.13	岡崎市	畜産フェスタ
			~14		

年月日	場 所	会 議 名	年月日	場 所	会 議 名
24. 11. 28	東京都	畜産近代化リース業務全国会議	25. 2. 21	東京都	農畜産業振興機構畜産振興事業公募説明会
24. 11. 30	長久手市	愛知県農林水産技術会議農業分科会	25. 2. 25	東京都	家畜防疫互助基金支援事業中央会議
24. 12. 9	名古屋市	人権ハートフルフェスティバル	25. 2. 27	名古屋市	愛知県養豚農協総会
24. 12. 17	東京都	畜産特別資金等全国会議	25. 2. 28	東京都	都道府県畜産振興協議会
24. 12. 24	名古屋市	畜産フェア	25. 3. 1	東京都	中央畜産会事務処理従事者研修会
25. 2. 13 ～14	東京都	肉用子牛生産者補給金制度経理研修会	25. 3. 5	東京都	畜産特別資金等全国会議
25. 2. 21	名古屋市	東海地域生乳安全安心協議会	25. 3. 26	東京都	中央畜産会臨時総会

第3 事業関係

1. 補助事業

(1) 愛知県補助事業

1) 畜産協会運営費

畜産経営における家畜、家禽の飼養管理技術の向上や経営安定対策、家畜衛生対策等全般にわたる知識の普及を図り、生産性の高い畜産経営の発展に資するとともに、畜産団体の中核として本県の畜産振興に努めた。

2) 家畜登録等事業

県域の家畜登録団体（愛知県酪農農業協同組合、愛知県和牛改良協会、愛知県養豚農業協同組合）が実施する家畜登録事業等に補助金を交付して、本県における優良な系統による家畜生産に寄与した。

- ①愛知県酪農農業協同組合（ホルスタイン血統登録・基礎登録等）
- ②愛知県和牛改良協会（和牛登録・子牛登記等・和牛共進会）
- ③愛知県養豚農業協同組合（種豚登録・子豚登記等）

3) 肉用子牛価格安定対策事業

肉用子牛生産安定等特別措置法（昭和63年法律第98条）に基づき、肉用子牛生産者補給金交付に係る生産者積立金の積立額の4分1の補助を受け、生産者積立金への造成を行った。

(2) 地方競馬全国協会補助事業

1) 畜産経営技術指導事業 地域畜産支援指導等体制強化

県および中央団体の補助・委託事業、協会事業を実施することで、本県畜産の担い手育成・確保、地域畜産の活性化や理解増進、馬事・畜産の普及啓発等の公益的な支援指導活動に資す体制の強化を図った。

(3) (独)農畜産業振興機構補助事業

1) 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は機構より生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助

金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

- 推進会議等 2回(平成24年5月9日、11月13日 岡崎市)
- 委託団体調査指導 98日延べ100団体
- H24.1～12個体登録頭数(6ヵ月齢頭数) 13,298頭

• 肉専用種	1,088頭
• 肉専その他	2頭
• 交雑種	7,925頭
• 乳用種	4,283頭

①生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 240者	内訳：個人経営 214者、組合法人 4者、会社法人 22者
------------	-------------------------------

②生産者積立金造成実績

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	生産者負担金	県生産者積立助成金	機構生産者積立助成金	
黒毛和種	598,400	598,400	1,196,800	2,393,600
その他肉専用種	12,200	12,200	24,400	48,800
交雑種	9,906,250	9,906,250	19,812,500	39,625,000
乳用種	13,598,525	13,598,525	27,197,050	54,394,100
計	24,115,375	24,115,375	48,230,750	96,461,500

【生産者積立金単価】登録日：6月齢－1日(積立は四半期毎) (単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	550	550	1,100	2,200円
その他肉専用	6,100	6,100	12,200	24,400円
交雑種	1,250	1,250	2,500	5,000円
乳用種	3,175	3,175	6,350	12,700円

(平成22年7月1日登録分より改定)

③生産者補給金交付実績

(単位：円)

区分		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	計
黒毛	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	-
	金額	0	0	0	0	0
他肉専	頭数	0	0	1	0	1
	単価	51,600	72,710	91,790	65,780	-
	金額	0	0	91,790	0	91,790
交雑種	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	-
	金額	0	0	0	0	0
乳用種	頭数	889	780	1,171	1,100	3,940
	単価	26,100	34,350	24,100	18,200	-
	金額	23,202,900	26,793,000	28,221,100	20,020,000	98,237,000
計	頭数	889	780	1,172	1,100	3,941
	金額	23,202,900	26,793,000	28,312,890	20,020,000	98,328,790

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る契約生産者の子牛の個体登録と識別、販売・保留

確認等の業務を適切に行うため、全国統一電算事務システムをはじめとする業務体制の充実や、関係団体に事務の一部を委託することにより、制度の適正かつ円滑な実施を図った。

①事務委託先契約締結状況

区 分	団 体 名
農 協 連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
そ の 他 (1)	(社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

3) 肉用牛繁殖経営支援推進事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用種繁殖経営体への補完として、肉専用子牛の平均売買価格が発動基準価格(黒毛和種：38万円，その他肉専用種：25万円)を下回った場合に、その差額の4分の3を上限とした支援交付金を、同制度の契約肉用子牛に対して交付することで、肉専用種繁殖経営の生産基盤の維持・発展に期す事業であり、平成24年度においてはその他肉専用種で発動があり、7-9月に1頭が支援交付金の対象となった。

- 推進会議等 2回(平成24年5月9日、11月13日 岡崎市)
- 事業参加者 125者
- 支援交付金の交付実績 34,500円

区 分		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
黒毛和種	支援交付金(円)	0	0	0	0
	該当頭数(頭)	-	-	-	-
その他肉専用種	支援交付金(円)	34,500	34,500	34,500	34,500
	該当頭数(頭)	0	0	1	0

4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

また、生産者の肥育牛の個体登録、およびその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施した。

なお、東日本大震災での原子力発電所事故に起因した肉用牛経営の低落から、経営の資金繰りが改善される間、前年度に引き続き四半期単位での補填業務を、月毎に交付する特例措置で行った。

- 推進会議等 2回(平成24年5月9日、11月13日 岡崎市)
- 調査指導等 17日延べ15団体4者
- H24.1~H25.3個体登録頭数(17ヵ月齢頭数) 24,151頭
肉専用種 3,971頭、交雑種 15,803頭、乳用種 4,377頭

①生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者 244 者	内訳 個人経営 207 者、組合法人 5 者、会社法人 32 者
-------------	----------------------------------

②委託先契約締結状況

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績

【基金造成単価】

単位；円

	平成23年度			平成24年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	13,000	39,000	52,000	13,000	39,000	52,000	25月齢
交雑種	25,000	75,000	100,000	30,000	90,000	120,000	22月齢
乳用種	18,000	54,000	72,000	30,000	90,000	120,000	18月齢

(単位：頭，円)

区分		H24.2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉用種	頭数	390	354	352	335	369
	金額	20,280,000	18,408,000	18,304,000	17,420,000	19,188,000
交雑種	頭数	1,153	1,073	1,149	1,367	1,335
	金額	115,300,000	107,300,000	137,640,000	163,920,000	160,060,000
乳用種	頭数	412	442	422	419	391
	金額	29,664,000	31,824,000	50,592,000	50,280,000	46,920,000
計	頭数	1,955	1,869	1,923	2,121	2,095
	金額	165,244,000	157,532,000	206,536,000	231,620,000	226,168,000

区分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉用種	頭数	380	442	361	388	394
	金額	19,760,000	22,984,000	18,772,000	20,176,000	20,488,000
交雑種	頭数	1,165	1,292	1,337	1,444	1,346
	金額	139,780,000	155,020,000	160,440,000	173,280,000	161,520,000
乳用種	頭数	338	328	347	267	230
	金額	40,560,000	39,360,000	41,640,000	32,040,000	27,600,000
計	頭数	1,883	2,062	2,045	2,099	1,970
	金額	200,100,000	217,364,000	220,852,000	225,496,000	209,608,000

区分		12月期	H25.1月期	計
肉用種	頭数	374	377	4,516
	金額	19,448,000	19,604,000	234,832,000
交雑種	頭数	1,213	1,290	15,164
	金額	145,560,000	154,800,000	1,774,620,000
乳用種	頭数	310	403	4,309
	金額	37,200,000	48,360,000	476,040,000
計	頭数	1,897	2,070	23,989
	金額	202,208,000	222,764,000	2,485,492,000

④肥育牛補填金交付実績

(単位：頭, 円)

区分		H24. 2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉 専 種	頭数	307	284	385	311	263
	単価	67,000	39,900	7,600	25,000	30,900
	金額	20,569,000	11,331,600	2,926,000	7,775,000	8,126,700
交 雑 種	頭数	1,155	1,246	1,325	1,266	1,165
	単価	150,800	152,300	91,900	89,500	114,100
	金額	174,174,000	189,765,800	121,767,500	113,307,000	132,926,500
乳 用 種	頭数	492	487	463	457	399
	単価	72,400	65,400	108,300	84,700	76,400
	金額	35,620,800	31,849,800	50,142,900	38,707,900	30,483,600
計	頭数	1,954	2,017	2,173	2,034	1,827
	金額	230,363,800	232,947,200	174,836,400	159,789,900	171,536,800

区分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉 専 種	頭数	406	273	283	341	515
	単価	25,400	82,400	46,300	50,100	8,400
	金額	10,312,400	22,495,200	13,102,900	17,084,100	4,326,000
交 雑 種	頭数	1,325	1,227	1,163	1,254	1,341
	単価	115,500	122,000	111,000	113,000	91,200
	金額	153,037,500	149,694,000	129,093,000	141,702,000	122,299,200
乳 用 種	頭数	440	395	376	426	443
	単価	75,000	79,600	82,200	77,800	70,900
	金額	33,000,000	31,442,000	30,907,200	33,142,800	31,408,700
計	頭数	2,171	1,895	1,822	2,021	2,299
	金額	196,349,900	203,631,200	173,103,100	191,928,900	158,033,900

区分		12月期	H25. 1月期	計
肉 専 種	頭数	0	204	3572
	単価	0	29,600	
	金額	0	6,038,400	124,087,300
交 雑 種	頭数	1,525	1,122	15,114
	単価	52,100	87,600	
	金額	79,452,500	98,287,200	1,605,506,200
乳 用 種	頭数	409	344	5,131
	単価	68,000	63,500	
	金額	27,812,000	21,844,000	396,361,700
計	頭数	1,934	1,670	23,817
	金額	107,264,500	126,169,600	2,125,955,200

5) 家畜防疫互助基金造成等支援事業 (家畜防疫互助等推進事業)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

- 加入状況 H24. 12. 31現在

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	120	12,364	2,946,710
肉用牛	166	29,052	4,178,395
牛計	235	41,416	7,125,105
豚	102	186,585	9,672,625
合計	337	228,001	16,797,730

- 加入率

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	397	30,700	408	52,600	232	351,800
契約	120	12,364	166	29,052	102	186,585
加入率	30.3%	40.3%	40.7%	40.6%	44.0%	53.0%

- 事業推進会議等の開催 2回(平成24年6月19日及び平成25年3月21日 名古屋市)

6) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、高能力繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。

- 増頭奨励金交付対象頭数 2頭 (愛知東農業協同組合)
- 支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合 (愛知東農業協同組合；
肉用牛ヘルパー利用組合)
- ・ヘルパー要員 65名
- ・活動実績・・・飼料生産関係：1,326時間
家畜市場関係：704時間

(4) 農林水産省補助事業

1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ヨーネ病、オーエスキー病等慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病、イバラギ病等の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

- 家畜自衛防疫推進会議の開催 1回(平成24年10月4日 名古屋市)
- ワクチン接種計画策定会議の開催 1回(平成25年3月21日 名古屋市)
- オーエスキー病清浄化対策(オーエスキー病清浄種豚流通促進対策)
対象農家戸数 3戸(新城市、田原市、常滑市)
抗体検査・陰性証明書発行頭数 3,627頭
- ヨーネ病防疫講習会の開催 1回(平成24年12月13日 岡崎市)
- ヨーネ病清浄化のための同居牛自主とう汰 1頭
- 伝染病予防ワクチン接種状況 牛 延べ 19,933頭
・牛異常産三種混合ワクチン 4,325頭

- ・アカバネ病単味ワクチン 4,195頭
- ・イバラギ病単味ワクチン 11,413頭
- 農場飼養衛生管理対策事業検討会 1回(平成24年9月27日 名古屋市)
- 農場飼養衛生管理強化推進講習会 2回〔平成24年12月12日 名古屋市〕
〔平成24年12月17日 豊橋市〕

(5) (社)中央畜産会補助事業

1) 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金（大家畜経営改善支援資金、畜産経営維持緊急支援資金）借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県段階で設置している協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。

- 現地検討会・指導会の実施 5回(5月、7月、9月、11月、1月 田原市)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
肉牛農家 1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
- 愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回(平成25年3月18日 名古屋市)

2) 高病原性鳥インフルエンザ防疫強化緊急対策事業

鳥インフルエンザに対する防疫体制の強化を図るために導入した共同車両消毒装置について、前年度に引き続き継続貸付を行い、貸付期間満了後譲渡した。

- 共同の車両消毒装置の貸付 2組合・計5台
(浮野養鶏農業協同組合3台、農事組合法人吉浜曙養鶏団地2台)

3) 衛生体制強化基金事業

予防注射事業等の円滑な推進を図るため、ブロック会議の開催及び畜産協会指定獣医師への資料配付を実施した。

2. 受託事業

(1) 中央畜産会受託事業

1) 畜産関係団体調整機能強化事業

畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の畜産を担う生産者を参集し、6次産業化認定も取得しながら、地域に根ざした酪農業を展開する経営を題材に、将来的な畜産への展望について意見交換を実施した。

- 懇談会・意見交換会等の開催 1回
「畜産の仲間づくり懇談会」平成25年3月22日 岡崎市
情報提供：合同会社 酪 副代表 北村克己氏
「地域における多重的な経営の展開について」
意見交換参加者：酪農経営2人、肉用牛経営2名、酪農肉用牛経営1名、
養豚経営1名、養鶏経営2名、県・団体関係者4名
情報提供者1名、畜産コンサルタント1名 計14名

2) 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会、ならびに講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。

- 馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回(平成24年12月10日 名古屋市)
(愛知県、競馬組合、獣医師会、馬主協会、馬術連盟)
- 馬飼養衛生管理技術講習会の開催 1回(平成24年12月10日 名古屋市)
「馬のワクチンと飼養衛生管理について」
- 地域馬獣医療実態調査 30ヵ所(回答25ヵ所)

3) 地域畜産災害再生支援事業

東日本大震災被災地域における地域畜産の再生に向け、過去に本県で発生した家畜伝染病(高病原性鳥インフルエンザ)被害からの経営再開・地域畜産の再生を再調査、取りまとめて報告することにより、震災被災地での畜産の復興・再生への参考・模範と目される事例の情報提供に資した。

(2) 畜産近代化リース協会受託事業

1) 貸付事業指導等事業

畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。

- 調査件数 16戸、18基
(豊橋市9戸、常滑市1戸、田原市6戸)
- 普及啓発資料作成 450部

(3) 家畜衛生対策推進協議会受託事業

1) 馬インフルエンザワクチン接種及び地域自主防疫活動強化事業

競走馬以外の馬(全乗馬協加盟の一般施設乗用馬のうち登録馬以外の馬、一般乗用馬及びその他の馬)についても馬インフルエンザの予防を徹底するためワクチン接種助成を行うとともに、畜産の生産段階における防疫活動の強化のため、自主防疫活動の普及啓発等による組織活動の充実を図った。

- 対象施設 17施設、177頭(乗用馬168頭、小格馬9頭)
- 地域自主防疫推進会議の開催 2回
〔平成24年10月4日 名古屋市〕
〔平成25年3月21日 名古屋市〕

3. 協会事業

(1) 畜産振興事業(名古屋競馬(株)助成事業)

名古屋競馬株式会社の助成を得ながら、次の事業を実施した。

1) 東海ブロック連絡協議会

ブロックの各県畜産協会や中央団体・行政との連携強化や、畜産情勢の変化に的確に対応するため、ブロック内幹事県として会議を開催し、畜産経営対策を主題とした全般的な課題と、家畜衛生関係の当面する課題について、各々協議した。

- 東海ブロック畜産協会連絡協議会 平成24年9月5日 大津橋ビル

2) 共進会表彰事業

会員等が開催する家畜共進会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- 6団体催事 賞状5点、副賞9点

3) 畜産経営体等支援事業

大家畜経営データベース運用体制変更に伴う代替システムへの移行支援を行った他、関係団体と連携して生産性の向上を図る講習会を開催した。

また、畜産情報ネットワーク(LIN)に引き続き参加し、畜産関係者や一般消費者にホームページによる情報提供を行った。

4) 畜産物消費促進事業

消費者等を対象とした催事の中で、県産畜産物の配布等により啓発活動を実施し、本県畜産物の消費促進PRを行った。

- 「畜産フェスタ」 平成24年10月13～14日 畜産総合センター 5,800人
- 「愛知県畜産特別競走」 平成24年12月24日 名古屋競馬場 1,000人

(2) 家畜防疫対策事業

1) 海外悪性伝染病対策支援事業

県内で対象とする海外悪性伝染病の発生はなかったため、事業執行はなかった。

対象家畜：牛、豚

対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

(3) 高橋養鶏賞顕彰事業

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- 高橋養鶏賞選考委員会 平成24年5月22日
- 第37回高橋養鶏賞受賞者 白井文治氏(普及部門)
杉浦幹夫氏(経営部門)
- 高橋養鶏賞表彰式 平成24年6月25日

(4) 経営安定・防疫対策補完事務事業

1) 家畜衛生事業

農家が吸血昆虫媒介疾病、牛伝染性鼻気管炎等の発生・流行防止のために行う予防注射を実施する経費の一部を補助するにあたり、事務を円滑に推進するため、事務手数料を徴収した。

2) 肉用子牛生産者補給金制度事務事業

肉用子牛生産者補給金制度の事務を円滑に行うために、契約子牛頭数に応じて手数料を徴収するとともに、一部を事務委託先団体へ肉用子牛業務推進費として支出した。

3) 肉用牛肥育経営安定特別対策事務事業

肉用牛肥育経営安定特別対策事業の事務を円滑に行うために、契約肥育牛頭数に応じて事務手数料を徴収し、補助事業の事務経費の補完をした。

4. その他事業

(1) 畜産関係団体業務受託事業

愛知県和牛改良協会の事務委託を受けて団体事業の円滑な推進を図った。

(2) 図書斡旋事業

(社)中央畜産会が発行する畜産関係図書の斡旋を行った。

5. 畜産会館・大津橋ビル持分の運営管理

畜産会館の管理会計ならびに大津橋ビル持分勘定について、それぞれの経理処理について適正な処理を行った。

6. その他の活動

(1) 愛知県畜産協議会活動

主要な畜産関係団体と協議会を組織し、構成団体と連携・協調して自由民主党愛知県議員団畜産振興議員連盟への要望等行い、本県でのより一層の畜産振興に努めた。

(2) 愛知県馬事畜産振興協議会活動

主要畜産団体で構成した協議会で、畜産物配布等を行うことにより、競馬ファンの新たな獲得やファンサービスに努め、競馬の振興に資した。